

会 議 録

会議の名称		平成29年度 第2回 守谷市社会教育委員の会議		
開催日時		平成30年3月27日（火） 開会：10時00分 閉会：11時30分		
開催場所		守谷市役所 大会議室		
事務局（担当課）		教育委員会 生涯学習課		
出席者	委 員	仁田議長，仁平副議長，霜多委員，高橋委員，櫻井委員， 持田（憲）委員，吉村委員，西委員，持田（正）委員， 川崎（国）委員，川崎（勝）委員，中村委員，鴻巣委員 計13名		
	その他			
	市職員	後藤教育長，飯塚教育部次長兼生涯学習課長，福島課長補佐 計3名		
公開・非公開 の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合 はその理由				
会 議 次 第		1 開会 2 挨拶 3 議題 （1）平成30年度 社会教育（生涯学習）事業の概要について （2）その他 4 閉会		

確定年月日	会議録署名
平成30年3月29日	議 長 仁 田 栄

審 議 経 過

1 開会

会議の公開，会議録への発言者の氏名記載について，委員全員の承認を得た。

2 挨拶

仁田議長

後藤教育長

3 議題

(1) 平成30年度 社会教育（生涯学習）事業の概要について

事務局から資料に沿って説明

霜多委員： 改修は空調だけなのでしょうか。

工期がどのようになるのか，文化協会の事業のスケジュール等もあるので心配です。

事務局： 当初予定していた工期は，平成31年1月から9月末でしたが，変更になる可能性が十分に考えられます。現在，実施設計を進めているところですが，設計の履行期間が終了するのが今年の8月ですので，終了後に設計の詳細を見て，議会が内容を精査することになります。内容が決定した後，予定価格を決定したり，入札を行ったりすることを考慮すると，工事の開始が予定より遅れる可能性があります。

その背景としては，もっと大きな市民ホールを建ててほしいという要望があります。そういったことから，中央公民館の改修に大きな費用がかかるなら，建て直したほうが良いのではないかという考え方もあります。建て直した時の費用や維持管理費等，また，費用対効果を検討する必要があります，それらを元に判断しなければなりません。

霜多委員： 中央公民館の定期サークルは，平成31年1月から9月まで休館のため使えないと聞いて，地区公民館に活動場所を移動していて，工事が遅れて休館しないとなっても使用申請ができていない状況です。万一，活動場所を中央公民館に戻したいとなった場合に，地区公民館の取消し，返金期間に間に合わなかったということも考えられると思います。

事務局： 15日以内に取消していただければ返金できることになっていますが，今回の件について言えば，市側の事情でそのような事態になるわけですから，特例的に返金対象とすることになると思います。また，活動場所を戻す，戻さないいずれにしても，十分に検討できる期間をアナウンスしたいと考えています。

川崎（勝）委員： 2年くらい前の話ですが，守谷の図書館で，DVDやCDが大量になくなったと聞いたのですが，何か対策をしていますか。

事務局： 当時100枚くらいなくなつたと記憶しています。そのため，閉架書庫

にしています。手口的には察しが付くのですが、なかなか身体検査をするわけにもいきません。J-POPや落語が大量に盗まれました。

川崎（勝）委員： 開架式のほうが便利だと思っていましたが、そういった理由があるのなら納得です。

ハーフマラソンは、なぜ補助事業なのですか。

事務局： 主催が守谷市体育協会で、守谷市から事業主体である「守谷ハーフマラソン実行委員会」に補助金を交付して運営しているからです。補助金の他に参加者に負担していただく参加費や企業協賛金を募って運営しています。総事業費は約3,000万円で、そのうち守谷市からの補助金が300万円ということになります。

平成29年度まではずっと200万円を補助していましたが、赤字となることが見込まれ、参加費を500円アップした経緯があります。参加者から負担していただくだけではなく、守谷市からも補助金をアップすれば、十分な運営費用を確保できるということで、平成30年度予算は300万円の計上となりました。

仁田議長： それにしても、守谷市からの補助金は近隣と比べると少ないと思います。

高橋委員： 参加者だけではなく、市内の企業もたくさん協力していると思います。実行委員会が努力して、企業回りをしている成果だと思います。

協賛企業へのお礼が毎年Tシャツですが、その辺りで節約できるなら、タオルなど簡素なものでも構わないのではないのでしょうか。

川崎（勝）委員： 社会教育指導員事業は大事な事業だと思います。

昨今、学校の先生の加重労働のニュースが後を絶ちませんが、社会教育と連携させたり、大学生などに協力してもらうなど、社会教育指導員が中心となって、活性化を図ってはどうか。

市は、何か対策を考えているのでしょうか。

事務局： 平成29年度については、キャリア教育の講師の橋渡しを行い、小中学校にキャリア教育の講師を紹介する取組を行いました。

今後も、社会教育指導員が中心となって、キャリア教育、放課後子ども教室やコミュニティスクールなどの場面で、学校と地域の結び付きの強化を図りたいと考えています。

この他、学校教育課の予算になりますが、部活動指導員の活用なども、教職員の負担軽減に当たる充実させたい事業の一つです。

中村委員： 部活動への外部指導員の派遣は、学校側にとって大変助かる事業となります。

仁田議長： 児童クラブについてですが、黒内小学校には2箇所あっても、まだ狭いのではないのでしょうか。放課後空いている教室を学校側に協力を求めて活用できるようにしてはどうか。

事務局： 実際に守谷市には空いている教室がない中で、学校側には放課後空いて

いる特別教室を提供していただいています。

どちらかと言えば、学校側は比較的、放課後に開放することはセキュリティの関係などで嫌がる人が多いのですが、守谷市の場合は、校長先生方にご協力いただいて、スムーズに対応できています。

鴻巣委員： 学校長が児童クラブの施設長を兼ねているので、柔軟に対応しています。普通教室を開放するのはなかなか難しい問題があるのですが、その他の施設に関しては、当校の場合は、困った時には、いつ職員の誰に聞いてもらっても良いことにしています。

高橋委員： 郷州公民館で野菜を売ってもらえないかという要望があります。野菜販売というのはハードルが高いので、冷凍食品など日持ちがするものを売ってはどうかと思います。みずき野の住民は買い物に遠出することも困難なため、日常的に間に合わせる程度でもあれば助かるのではないのでしょうか。

仁平副議長： 移動販売などでも良いと思います。

事務所： 指定管理者が自主事業として収益事業を行うことは、良いことになっています。

ロビー等を目的外に使用できるようになっていて、図書館の指定管理者は、コーヒーの自動販売機を設置しています。

仁平副議長： 先日、市内で健康マージャン大会を行ったところ、たくさんの参加者の中で、みずき野からの参加者がいちばん多かったです。みずき野の高齢化率が高いことがわかりました。不便が解消できることがあれば良いと思います。

持田（憲）委員： 北守谷公民館まつりに、地区内の小中学校と守谷高校の児童・生徒の皆さんに出演していただいています。その際の小学生の交通手段の配慮をしていただけないのでしょうか。学校全体の行事、公民館の行事をジョイントさせても良いのではないかと思います。その方が、コミュニティがより豊かになります。

また、守谷市にはあらゆる人材が豊富で、公民館事業で活躍していただける方がたくさん埋もれているのではないのでしょうか。

高橋委員： 学校行事との兼ね合いが大事だと思います。できるだけ小中学生が参加できるように公民館行事を工夫する必要があります。

後藤教育長： 子ども達も地域の一員です。学校で参加するとなると、前もって計画して、うまくクリアできるような工夫をすることが大事だと思います。中学校は、部活動で動いているので、活動の良いPRになっていると考えているので、積極的に協力したいと思います。

仁田議長： 青少年相談員事業が平成30年度で廃止となるようですが、以前に、社会教育委員の代表として環境浄化運動に参加し、青少年に悪影響となる雑誌等の自動販売機を撤去した経緯がありました。

家庭教育講座等では、時代のニーズに合った家庭での教育を把握して、

お母さん方に必要な知識を教えてほしいと思います。

(2) その他

図書館協議会の報告

※ 社会教育委員選出の堀込委員が欠席のため，事務局が代わって報告

4 閉会